



概要

Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームは、サービスの高速化、マルチレイヤセキュリティ、クラウドネイティブの俊敏性、エッジでのインテリジェンスを実現し、クラウドへの移行を促進するために設計された、クラス最高レベルの 5G 対応クラウドエッジプラットフォームです。

Cisco IOS XE SD-WAN ソフトウェアを搭載した Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームを利用すれば、クラウド対応のセキュアな Cisco SD-WAN ソリューションをブランチに導入できます。Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームは、高性能の統合 SD-WAN サービスに加えて、クラウドまたはオンプレミスのいずれでもセキュリティサービスおよびネットワークサービスを提供できる柔軟性を備えています。また、高密度の WAN ポートと冗長電源にも対応しています。Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームには、モジュール密度の高いものから低いものまで各種インターフェイスオプションが用意されています。インターフェイスは、既存の WAN、LTE、音声、コンピューティング モジュールと下位互換性があります。Catalyst 8500 シリーズ プラットフォームは、Cisco IOS XE、完全にプログラム可能なソフトウェアアーキテクチャ、API をベースに大規模な自動化を促進し、ワークロードをクラウドに移行しながらゼロタッチ IT を実現します。また、Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームは、Trustworthy ソリューション 2.0 インフラストラクチャも搭載しているため、整合性をチェックして脅威を修復することで、脅威や脆弱性からプラットフォームを保護します。

Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームは、中規模～大規模の企業のブランチオフィスで統合 SD-WAN サービスを利用し、高い WAN IPSec パフォーマンスを実現するのに適しています。

Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームは、次の使用例を対象にします。

- エンタープライズブランチオフィス、マネージドサービスプロバイダー CPE、DIA 用インターネットゲートウェイ、SD-WAN を搭載した SASE クラウドプラットフォーム
- 次世代のソフトウェアデファインド (SD) ブランチルーティングプラットフォーム

機能と仕様の詳細については、Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームのデータシートを参照してください。



(注) このドキュメントのセクションは、特定のモデルへの参照が明示的に行われない限り、Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジプラットフォームのすべてのモデルに適用されます。

この章は、次の項で構成されています。

- [シャーシの外観](#) (2 ページ)
- [ラベルの位置](#) (4 ページ)
- [製品識別の詳細の確認](#) (5 ページ)
- [Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジプラットフォームのハードウェア機能](#) (6 ページ)

シャーシの外観

このセクションでは、Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジプラットフォームの電源入力および I/O 側の外観について説明し、電源インターフェイスと信号インターフェイス、モジュールスロット、ステータスインジケータ、シャーシ ID ラベルの位置を示します。

Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジプラットフォームは次のモデルで使用できます。

- C8200-1N-4T
- C8200L-1N-4T



(注) N = ネットワーク インターフェイス モジュール、T = ギガビットイーサネット

電源入力側および I/O 側

図 1: Cisco 8200 シリーズ シャーシ : I/O 側

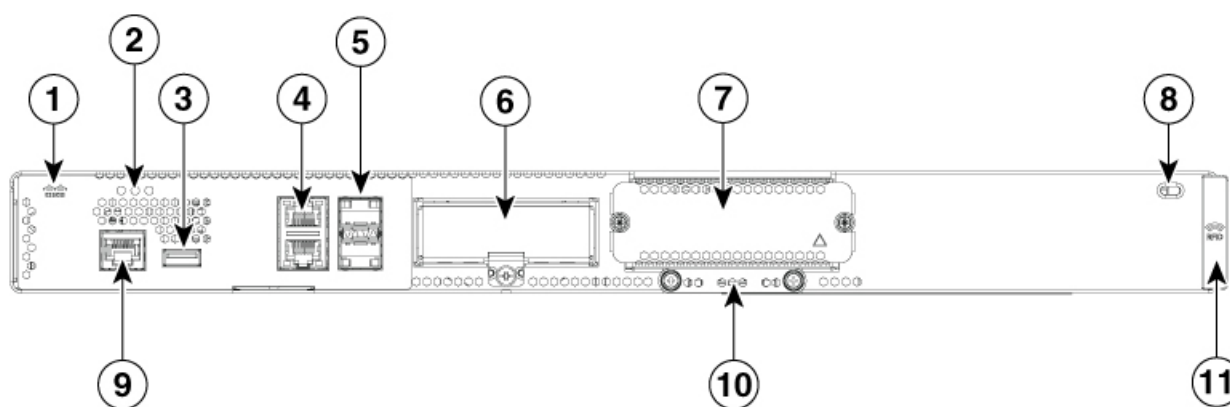


表 1: I/O 側

1	ロゴ	2	ステータス LED
3	USB	4	RJ-45 ポート GE0/0/0 ~ 0/0/1
5	ギガビットイーサネットポート GE0/0/2 ~ 0/0/3 (SFP)	6	LTE モジュール (PIM)
7	NIM モジュール	8	ケンジントン ロック
9	RJ-45 コンソール	0	M.2 USB/NVMe ストレージ
11	RFID (プロビジョニング可能)		

図 2: Cisco 8200 シリーズ シャーシ : 電源入力側

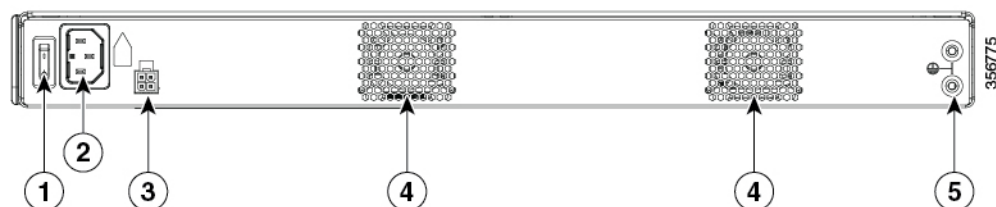


表 2: 電源入力側

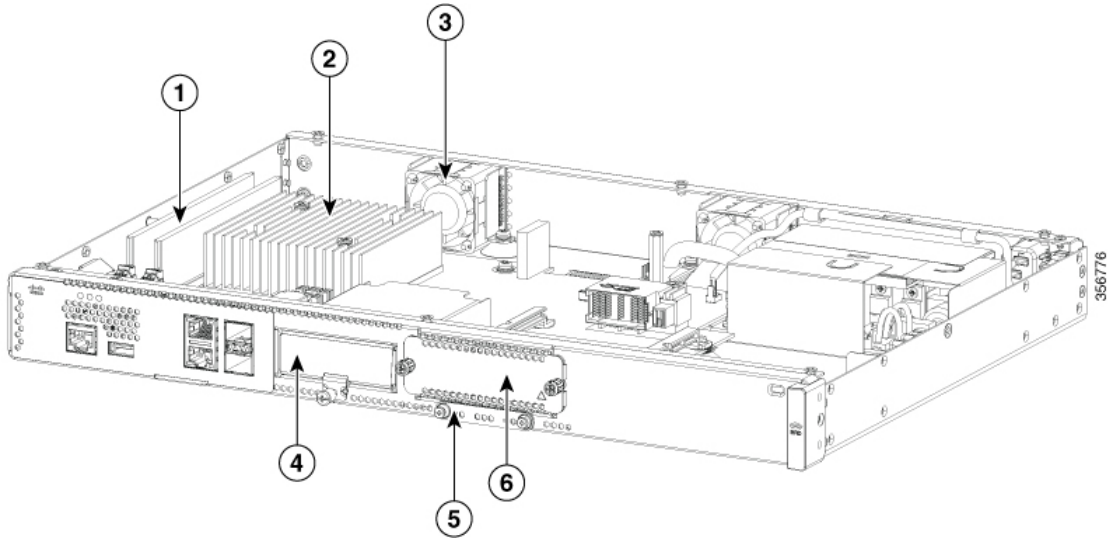
1	スイッチ	2	AC 電源ソケット
3	PoE アダプタ	4	ファン
5	アースラグの固定位置		

LED の詳細については、LED インジケータに関するセクションを参照してください。

プラットフォームの概要

下図は、コンポーネントとモジュールの場所を含む Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームの内部ビューを示しています。

図 3: Cisco 8200 シリーズ エッジ プラットフォームのプラットフォーム概要



1 DIMM	2 CPU
3 ファン	4 PIM スロット
5 M.2 カードスロット	6 NIM スロット

ラベルの位置

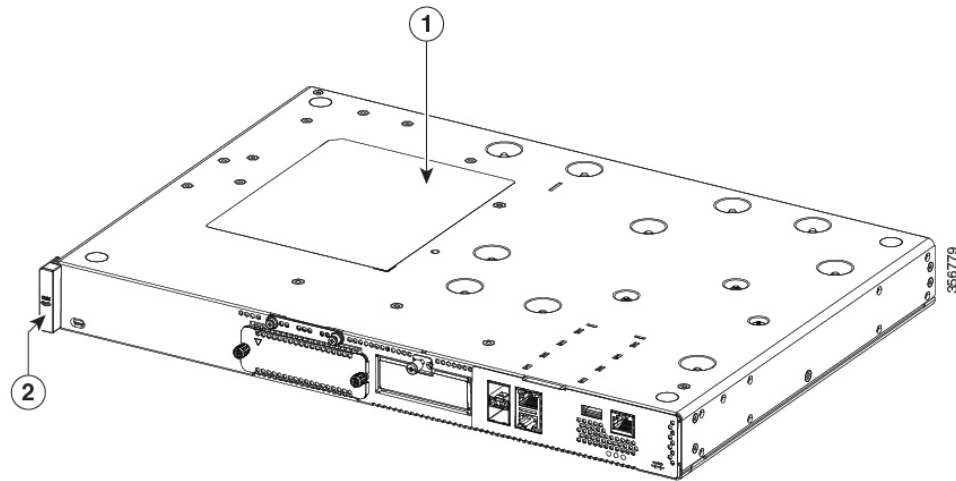
次の図は、Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジプラットフォームのラベルの位置を示しています。すべての Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジプラットフォームで、ラベルは同じ位置にあります。

シリアル番号 (SN) 、共通言語機器 ID (CLEI) 、トップアセンブリ番号 (TAN) 、製品 ID (PID) 、PID バージョン ID (VID) 、およびクイックレスポンス (QR) コードは、プラットフォームの背面上のラベル、またはシャーシ上にあるラベルトレイに印刷されています。



(注) デバイスの RFID タグは事前に取り付けられており、予備の RFID タグは付属していません。

図 4: Cisco 8200 シリーズ エッジ プラットフォームのラベル位置



1	準拠ラベル	2	RFID
---	-------	---	------

製品識別の詳細の確認

ソフトウェア ライセンス

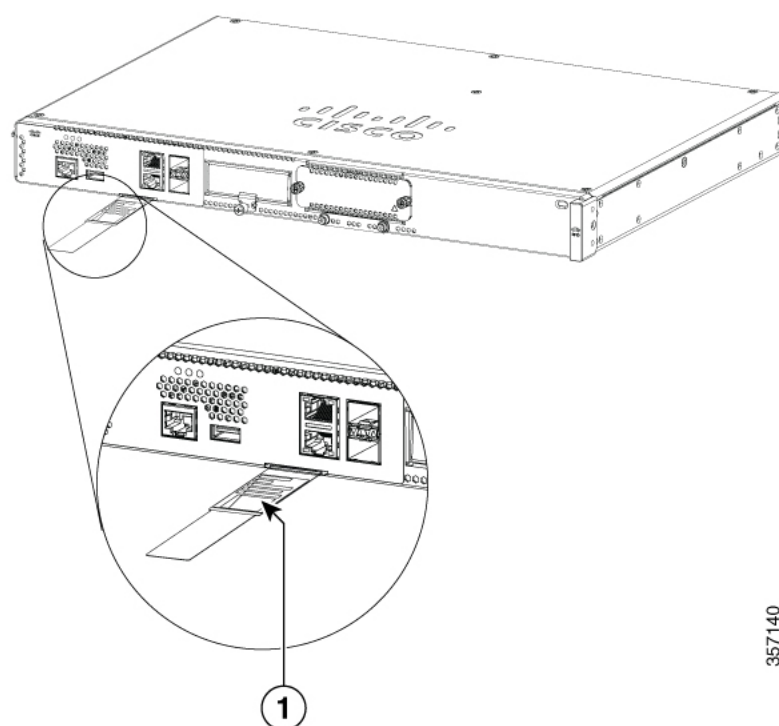
シリアル番号 (SN)、製品 ID (PID)、バージョン ID (VID)、および共通言語機器識別子 (CLEI) は、デバイス底面のラベル、またはラベルトレイに印刷されています。

ソフトウェアライセンスを取得するには、ライセンスをインストールするデバイスの固有デバイス識別子 (UDI) が必要です。

UDI には 2 つの主要コンポーネントがあります。

- 製品 ID (PID)
- シリアル番号 (SN)

Cisco Internet Operating System (IOS) ソフトウェアの特権 EXEC モードで **show license udi** コマンドを使用すると、UDI を表示できます。



1	ラベルトレイ
---	--------

Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームのハードウェア機能

このセクションでは、Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームのハードウェア機能について説明します。

組み込みのインターフェイス ポート

Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームには、複数の 10/100/1000 前面パネルポートと Small Form Pluggable があります。

GE ポートまたは SFP ポート

Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームでは、次の GE および SFP ポートを使用できます。

GE ポート

GE RJ-45 銅線インターフェイス ポートは、10BASE-T、100BASE-TX、および 1000BASE-T をサポートしています。

SFP ポート

Small Form-Factor Pluggable (SFP) ポートは、1 Gbps SFP モジュールをサポートしています。

着脱式および交換式のモジュールおよびカード

外部スロットに接続されているネットワーク インターフェイス モジュール (NIM)、着脱可能インターフェイスモジュール (PIM)、M.2 USB/NVMe ストレージは、シャーシを開かないで取り外しまたは交換することができます。

外部スロット

- ネットワーク インターフェイス モジュール (NIM)
- 着脱可能インターフェイスモジュール (PIM)
- M.2 USB/NVMe ストレージ



- (注) LTE 着脱可能インターフェイスモジュールは、USB3.0 インターフェイスを介してホスト CPU と接続します。その後、ホストは、着脱可能モジュールの I2C インターフェイスを介して LTE 関連信号にアクセスします。

内部スロット

- メモリ

サポートされるモジュールおよびインターフェイスカードのリストについては、[cisco.com](https://www.cisco.com) の Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォーム 製品のページを参照してください。

メモリ

Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームには、実行コンフィギュレーションおよびルーティングテーブルを保存する DIMM が搭載されており、またネットワークインターフェイスによるパケットバッファリングに使用されます。

- ブート/NVRAM : bootstrap プログラム (ROM モニター)、およびコンフィギュレーション レジスタを格納します。ブート/NVRAM は保守可能ではありません。
- 内部メモリ : 内部ブートフラッシュメモリ

- 着脱式 M.2 カード：16GB（デフォルト）、32GB M.2 USB、600GB M.2 NVMe SSD、および 2TB M.2 NVMe で使用可能。
- DRAM オプション
 - 1 X 8GB DDR4（デフォルト）
 - 1 X 16GB DDR4（アップグレード）
 - 1 X 32GB DDR4（アップグレード）



（注） C8200L-1N-4T のデフォルトの DRAM は 4GB です。Cisco SD-WAN の場合、8GB 以上のメモリを推奨します。

電源モジュール

Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームには内部電源装置があります。AC 電源ソケットに接続するための適切な AC コードが製品に付属しています。オプションの PoE は PoE アダプタを利用すれば使用できます。電源接続の位置（AC 電源ソケットおよび PoE アダプタ）については、図 2 を参照してください。

Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームの LED

図 5: 前面 (I/O) 側の LED ステータスインジケータ

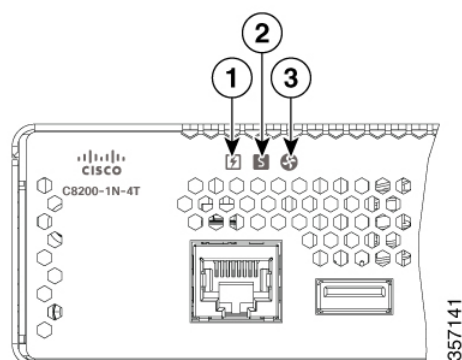


表 3: LED インジケータ

LED	色	説明
1 PSU	緑/オレンジ	電源ステータス 消灯：システムの電源がオフです。 緑：取り付けられているすべての PSU は正常に動作しています。
2 STATUS	緑/オレンジ/赤	システム ステータス 赤：システムは起動中です。 赤に点滅：システムでハードウェア整合性エラーが発生しました。 黄：Rommon の起動が完了し、システムは Rommon プロンプト状態またはプラットフォーム ソフトウェアの起動中です。 緑：通常のシステム動作です。
3 ENV	緑/オレンジ/赤	環境ステータス 消灯：モニターはアクティブではありません。 赤：システムが重大な過電流イベントを検出し、シャットダウンする可能性があります。 オレンジに点滅：システムの 1 つ以上の温度センサーが許容範囲外です。 オレンジ：システムの 1 つ以上のファンが許容範囲外です。 緑：システムのすべての温度センサーとファンが許容範囲内にあります。

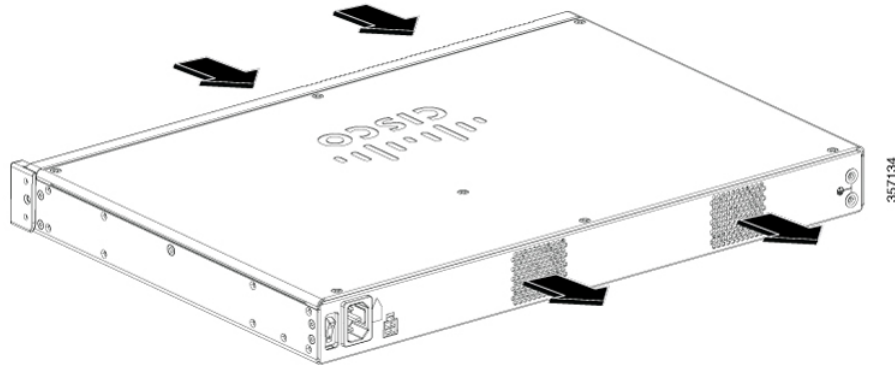
LED	色	説明
LINK	緑	RJ-45 管理イーサネットリンク LED 消灯：リンクなし 緑：イーサネットケーブルが存在し、反対側とのリンクが確立しています。
SPEED	緑	RJ-45 管理イーサネット速度 LED 消灯：リンクなし 緑の点滅：点滅の頻度はポートの速度を示します。 1 回点滅：10Mbps リンク速度 2 回点滅：100Mbps リンク速度 3 回点滅：1000Mbps リンク速度
SFP EN	緑	SFP イネーブル LED 消灯：存在しない 緑：SFP はサポートされており、障害はありません。 オレンジ：SFP はサポートされていないか、障害の状態です。
SFP リンク	緑	SFP リンク LED 消灯：リンクなし（存在しない） 緑：リンクの確立

ファン、通気、エアフロー

シャーシの換気

シャーシの温度は内部ファンによって調整されます。オンボードの温度センサーおよび圧力センサーは、ファンの速度を制御します。デバイスの電源がオンの場合、ファンは常に稼働しています。いかなる場合もファンは最低限の速度で作動して、電力を節約するとともにノイズを軽減します。周囲の温度や高度が高い場合は、必要に応じて高速で動作します。

図 6: C8200 シリーズ エッジ プラットフォームのエアフロー



スロット、サブスロット/ベイ、ポート、インターフェイス

Cisco Catalyst 8200 シリーズ エッジ プラットフォームは、次のインターフェイスモジュールをサポートしています。ネットワークモジュール（NIM）、着脱可能インターフェイスモジュール（PIM）。

いずれの場合も、デバイスはスロット、ベイ、ポートを表示する 3 タプル表記を使用してインターフェイスを指定します。3 タプルの値はゼロ ベースです。3 タプルの例は 0/1/2 です。この例は、スロット 0、スロット 0 の 2 番目のベイ（最初のベイは 0 であり、2 番目ベイが 1）、ベイ 1 の第 3 ポート进行意味します。詳細な例は、以下の表を参照してください。

表 4: スロット、サブスロット/ベイ、ポート番号

3 タプルの例	スロット	ベイ	ポート
0/1/2	0	第 2	第 3
0/0/1	0	第 1	第 2
1/1/1	1	第 2	第 2

- スロット/ベイは、左から右に上から下に番号付けされます。
- 1 つの USB ポート（USB0）があります。スロット、ベイの番号はありません。



(注) USB0 を使用してフラッシュドライブを挿入できます。

スロット番号

スロット番号は、0、1、2 です。

スロット 0 について

次は、スロット 0 の主要機能です。

- スロット 0 は統合ポートおよび NIM 用に予約されています。

サブスロットおよびベイの番号付け

- 統合デバイス（統合ポートまたは FPGE）と NIM は、ベイ 0 の固定セクションにあります。
- 統合デバイスと統合 NIM がベイ 0 を使用するため、マザーボードの NIM ベイはベイ 1 から始まります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。